

2022年度
シラバス
(講義計画)

学校法人 立志舎
京都公務員&IT会計専門学校
【法律研究学科】

昼間部 文化教養専門課程 法律研究学科[1年制]

頁数	科目区分	必修 選択	授業科目	授業 形態	第一学年		授業時数 合計	単位数 合計
					授業時数	単位数		
1	一般科目	選択必修	社会科学研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
2	一般科目	選択必修	社会科学研究	演習	80	4	80	4
3	一般科目	選択必修	人文科学研究	演習	40	2	40	2
4	一般科目	選択必修	人文科学研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
5	一般科目	選択必修	自然科学研究	演習	40	2	40	2
6	一般科目	選択必修	自然科学研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
7	一般科目	選択必修	現代国語研究	演習	100	5	100	5
8	一般科目	選択必修	論文作文研究	演習	40	2	40	2
9	一般科目	選択必修	論文作文研究Ⅰ	演習	40	2	40	2
10	一般科目	選択必修	時事問題研究	演習	40	2	40	2
11	一般科目	選択必修	キャリアデザイン研究	演習	40	2	40	2
12	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡA	演習	20	1	20	1
13	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡB	演習	20	1	20	1
14	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡC	演習	20	1	20	1
15	専門科目	選択必修	職業実務研究ⅡD	演習	20	1	20	1
16	専門科目	選択必修	官公庁研究Ⅲ	演習	20	1	20	1
17	専門科目	選択必修	数的推理研究	演習	100	5	100	5
18	専門科目	選択必修	判断推理研究	演習	100	5	100	5
19	専門科目	選択必修	資料分析研究	演習	40	2	40	2
20	専門科目	選択必修	文章研究演習	演習	40	2	40	2
21	専門科目	選択必修	適性演習研究	演習	40	2	40	2
22	専門科目	選択必修	社会学研究	演習	20	1	20	1
23	専門科目	選択必修	教育・心理学研究	演習	20	1	20	1
24	専門科目	選択必修	経済学研究	演習	60	3	60	3
25	専門科目	選択必修	民法研究	演習	60	3	60	3
26	専門科目	選択必修	公法研究	演習	80	4	80	4
27	専門科目	選択必修	政治学・行政学研究	演習	20	1	20	1
28	専門科目	選択必修	経営学・財政学研究	演習	20	1	20	1
29	専門科目	選択必修	社会・教育・心理学研究	演習	20	1	20	1
30	専門科目	選択必修	コンピュータ演習Ⅰ	演習	20	1	20	1
31	専門科目	選択必修	卒業研究Ⅰ	演習	160	8	160	8
	必修科目合計						0	0
	選択必修科目合計						1440	1440
	卒業に必要な総授業時数						800	800

科目名	社会科学研究 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 21. 経済：経済のしくみ（2） 3 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 22. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 23. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 |
| 4. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 24. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 |
| 5. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 25. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1 |
| 6. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 26. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2 |
| 7. 政治：日本の統治機構 1 | 27. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3 |
| 8. 政治：日本の統治機構 2 | 28. 現代社会：現代の民主政治 1 |
| 9. 政治：日本の統治機構 3 | 29. 現代社会：現代の民主政治 2 |
| 10. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 30. 現代社会：現代の民主政治 3 |
| 11. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 31. 現代社会：現代社会と私たち 1 |
| 12. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 32. 現代社会：現代社会と私たち 2 |
| 13. 政治：国際社会 1 | 33. 現代社会：国際社会の動向と日本 1 |
| 14. 政治：国際社会 2 | 34. 現代社会：国際社会の動向と日本 2 |
| 15. 政治：国際社会 3 | 35. 憲法：憲法前文～第 103 1 |
| 16. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 1 | 36. 憲法：憲法前文～第 103 2 |
| 17. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 2 | 37. 憲法：憲法前文～第 103 3 |
| 18. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 3 | 38. 憲法：法学概論 1 |
| 19. 経済：経済のしくみ（2） 1 | 39. 憲法：法学概論 2 |
| 20. 経済：経済のしくみ（2） 2 | 40. 憲法：法学概論 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・現代社会・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学研究	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および現代社会分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 41. 経済：経済のしくみ（2） 5 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 42. 経済：経済のしくみ（2） 6 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 43. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 44. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 |
| 5. 政治：民主政治の基本原則 5 | 45. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 |
| 6. 政治：民主政治の基本原則 6 | 46. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 |
| 7. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 47. 経済：経済の発展と福祉の向上 5 |
| 8. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 48. 経済：経済の発展と福祉の向上 6 |
| 9. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 49. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1 |
| 10. 政治：日本国憲法の基本的性格 4 | 50. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2 |
| 11. 政治：日本国憲法の基本的性格 5 | 51. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3 |
| 12. 政治：日本国憲法の基本的性格 6 | 52. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 4 |
| 13. 政治：日本の統治機構 1 | 53. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 5 |
| 14. 政治：日本の統治機構 2 | 54. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 6 |
| 15. 政治：日本の統治機構 3 | 55. 現代社会：現代の民主政治 1 |
| 16. 政治：日本の統治機構 4 | 56. 現代社会：現代の民主政治 2 |
| 17. 政治：日本の統治機構 5 | 57. 現代社会：現代の民主政治 3 |
| 18. 政治：日本の統治機構 6 | 58. 現代社会：現代の民主政治 4 |
| 19. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 59. 現代社会：現代の民主政治 5 |
| 20. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 60. 現代社会：現代の民主政治 6 |
| 21. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 61. 現代社会：現代社会と私たち 1 |
| 22. 政治：日本の政治の現状と問題 4 | 62. 現代社会：現代社会と私たち 2 |
| 23. 政治：日本の政治の現状と問題 5 | 63. 現代社会：現代社会と私たち 3 |
| 24. 政治：日本の政治の現状と問題 6 | 64. 現代社会：現代社会と私たち 4 |
| 25. 政治：国際社会 1 | 65. 現代社会：現代社会と私たち 5 |
| 26. 政治：国際社会 2 | 66. 現代社会：国際社会の動向と日本 1 |
| 27. 政治：国際社会 3 | 67. 現代社会：国際社会の動向と日本 2 |
| 28. 政治：国際社会 4 | 68. 現代社会：国際社会の動向と日本 3 |
| 29. 政治：国際社会 5 | 69. 現代社会：国際社会の動向と日本 4 |
| 30. 政治：国際社会 6 | 70. 憲法：憲法前文～第 103 1 |
| 31. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 1 | 71. 憲法：憲法前文～第 103 2 |
| 32. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 2 | 72. 憲法：憲法前文～第 103 3 |
| 33. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 3 | 73. 憲法：憲法前文～第 103 4 |
| 34. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 4 | 74. 憲法：憲法前文～第 103 5 |
| 35. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 5 | 75. 憲法：憲法前文～第 103 6 |
| 36. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 6 | 76. 憲法：法学概論 1 |
| 37. 経済：経済のしくみ（2） 1 | 77. 憲法：法学概論 2 |
| 38. 経済：経済のしくみ（2） 2 | 78. 憲法：法学概論 3 |
| 39. 経済：経済のしくみ（2） 3 | 79. 憲法：法学概論 4 |
| 40. 経済：経済のしくみ（2） 4 | 80. 憲法：法学概論 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・現代社会・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本史、国語、世界史、地理分野の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 日本史：古代 | 21. 世界史：古代文明 |
| 2. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 | 22. 世界史：東アジア文化圏の形成 |
| 3. 日本史：室町・安土桃山時代1 | 23. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝1 |
| 4. 日本史：室町・安土桃山時代2 | 24. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝2 |
| 5. 日本史：江戸時代（1） | 25. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動1 |
| 6. 日本史：江戸時代（2） | 26. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動2 |
| 7. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） | 27. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 |
| 8. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） | 28. 世界史：市民社会の成立と近代国家 |
| 9. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） | 29. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 |
| 10. 日本史：昭和時代（2） | 30. 世界史：世界大戦前後の世界 |
| 11. 国語：四字熟語 | 31. 地理：現代世界の地理的考察1 |
| 12. 国語：故事成語 | 32. 地理：現代世界の地理的考察2 |
| 13. 国語：慣用句 | 33. 地理：地形と気候1 |
| 14. 国語：ことわざ | 34. 地理：地形と気候2 |
| 15. 国語：難読語 | 35. 地理：農業・漁業・林業1 |
| 16. 国語：同音異義語1 | 36. 地理：農業・漁業・林業2 |
| 17. 国語：同音異義語2 | 37. 地理：鉱工業・貿易1 |
| 18. 国語：同訓異義語1 | 38. 地理：鉱工業・貿易2 |
| 19. 国語：同訓異義語2 | 39. 地理：現代世界の地誌的考察（1） |
| 20. 国語：誤りやすいことば | 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・国語・世界史・地理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学研究 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本史、国語、世界史、地理分野の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 日本史：古代 | 21. 世界史：古代文明 |
| 2. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 | 22. 世界史：東アジア文化圏の形成 |
| 3. 日本史：室町・安土桃山時代 1 | 23. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 1 |
| 4. 日本史：室町・安土桃山時代 2 | 24. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 2 |
| 5. 日本史：江戸時代（1） | 25. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 1 |
| 6. 日本史：江戸時代（2） | 26. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 2 |
| 7. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） | 27. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 |
| 8. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） | 28. 世界史：市民社会の成立と近代国家 |
| 9. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） | 29. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 |
| 10. 日本史：昭和時代（2） | 30. 世界史：世界大戦前後の世界 |
| 11. 国語：四字熟語 | 31. 地理：現代世界の地理的考察 1 |
| 12. 国語：故事成語 | 32. 地理：現代世界の地理的考察 2 |
| 13. 国語：慣用句 | 33. 地理：地形と気候 1 |
| 14. 国語：ことわざ | 34. 地理：地形と気候 2 |
| 15. 国語：難読語 | 35. 地理：農業・漁業・林業 1 |
| 16. 国語：同音異義語 1 | 36. 地理：農業・漁業・林業 2 |
| 17. 国語：同音異義語 2 | 37. 地理：鉱工業・貿易 1 |
| 18. 国語：同訓異義語 1 | 38. 地理：鉱工業・貿易 2 |
| 19. 国語：同訓異義語 2 | 39. 地理：現代世界の地誌的考察（1） |
| 20. 国語：誤りやすいことば | 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・国語・世界史・地理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 数学：数と式 | 21. 化学：物質を構成する粒子 2 |
| 2. 数学：方程式 | 22. 化学：物質の変化 1 |
| 3. 数学：不等式 | 23. 化学：物質の変化 2 |
| 4. 数学：関数 1 | 24. 化学：イオン化傾向・非金属元素 |
| 5. 数学：関数 2 | 25. 化学：金属元素 |
| 6. 数学：平面と座標 1 | 26. 化学：有機化合物 |
| 7. 数学：平面と座標 2 | 27. 生物：動物の行動・生物の進化 |
| 8. 数学：角と三角形 1 | 28. 生物：細胞と組織 |
| 9. 数学：角と三角形 2 | 29. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：力と運動の法則 1 | 30. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：力と運動の法則 2 | 31. 生物：生物体のつくり |
| 12. 物理：物体の運動 1 | 32. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 13. 物理：物体の運動 2 | 33. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 14. 物理：エネルギー | 34. 生物：遺伝 1 |
| 15. 物理：波動 | 35. 生物：遺伝 2 |
| 16. 物理：電気・磁気 1 | 36. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 17. 物理：電気・磁気 2 | 37. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 18. 化学：物質の構成 1 | 38. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 19. 化学：物質の構成 2 | 39. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 20. 化学：物質を構成する粒子 1 | 40. 地学：宇宙の構成 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学研究 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 数学：数と式 | 21. 化学：物質を構成する粒子 2 |
| 2. 数学：方程式 | 22. 化学：物質の変化 1 |
| 3. 数学：不等式 | 23. 化学：物質の変化 2 |
| 4. 数学：関数 1 | 24. 化学：イオン化傾向・非金属元素 |
| 5. 数学：関数 2 | 25. 化学：金属元素 |
| 6. 数学：平面と座標 1 | 26. 化学：有機化合物 |
| 7. 数学：平面と座標 2 | 27. 生物：動物の行動・生物の進化 |
| 8. 数学：角と三角形 1 | 28. 生物：細胞と組織 |
| 9. 数学：角と三角形 2 | 29. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：力と運動の法則 1 | 30. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：力と運動の法則 2 | 31. 生物：生物体のつくり |
| 12. 物理：物体の運動 1 | 32. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 13. 物理：物体の運動 2 | 33. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 14. 物理：エネルギー | 34. 生物：遺伝 1 |
| 15. 物理：波動 | 35. 生物：遺伝 2 |
| 16. 物理：電気・磁気 1 | 36. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 17. 物理：電気・磁気 2 | 37. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 18. 化学：物質の構成 1 | 38. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 19. 化学：物質の構成 2 | 39. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 20. 化学：物質を構成する粒子 1 | 40. 地学：宇宙の構成 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	現代国語研究	開講年次	1年	授業時数	100	単位数	5
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 読み1 | 41. 送りがな1 | 81. 同音・同訓異字6 |
| 2. 読み2 | 42. 送りがな2 | 82. 同音・同訓異字7 |
| 3. 読み3 | 43. 送りがな3 | 83. 同音・同訓異字8 |
| 4. 読み4 | 44. 送りがな4 | 84. 同音・同訓異字9 |
| 5. 読み5 | 45. 送りがな5 | 85. 同音・同訓異字10 |
| 6. 部首1 | 46. 書き取り1 | 86. 誤字訂正6 |
| 7. 部首2 | 47. 書き取り2 | 87. 誤字訂正7 |
| 8. 部首3 | 48. 書き取り3 | 88. 誤字訂正8 |
| 9. 部首4 | 49. 書き取り4 | 89. 誤字訂正9 |
| 10. 部首5 | 50. 書き取り5 | 90. 誤字訂正10 |
| 11. 熟語の構成1 | 51. 読み6 | 91. 送りがな6 |
| 12. 熟語の構成2 | 52. 読み7 | 92. 送りがな7 |
| 13. 熟語の構成3 | 53. 読み8 | 93. 送りがな8 |
| 14. 熟語の構成4 | 54. 読み9 | 94. 送りがな9 |
| 15. 熟語の構成5 | 55. 読み10 | 95. 送りがな10 |
| 16. 四字熟語（書き）1 | 56. 部首6 | 96. 書き取り6 |
| 17. 四字熟語（書き）2 | 57. 部首7 | 97. 書き取り7 |
| 18. 四字熟語（書き）3 | 58. 部首8 | 98. 書き取り8 |
| 19. 四字熟語（書き）4 | 59. 部首9 | 99. 書き取り9 |
| 20. 四字熟語（書き）5 | 60. 部首10 | 100. 書き取り10 |
| 21. 四字熟語（意味）1 | 61. 熟語の構成6 | |
| 22. 四字熟語（意味）2 | 62. 熟語の構成7 | |
| 23. 四字熟語（意味）3 | 63. 熟語の構成8 | |
| 24. 四字熟語（意味）4 | 64. 熟語の構成9 | |
| 25. 四字熟語（意味）5 | 65. 熟語の構成10 | |
| 26. 対義語・類義語1 | 66. 四字熟語（書き）6 | |
| 27. 対義語・類義語2 | 67. 四字熟語（書き）7 | |
| 28. 対義語・類義語3 | 68. 四字熟語（書き）8 | |
| 29. 対義語・類義語4 | 69. 四字熟語（書き）9 | |
| 30. 対義語・類義語5 | 70. 四字熟語（書き）10 | |
| 31. 同音・同訓異字1 | 71. 四字熟語（意味）6 | |
| 32. 同音・同訓異字2 | 72. 四字熟語（意味）7 | |
| 33. 同音・同訓異字3 | 73. 四字熟語（意味）8 | |
| 34. 同音・同訓異字4 | 74. 四字熟語（意味）9 | |
| 35. 同音・同訓異字5 | 75. 四字熟語（意味）10 | |
| 36. 誤字訂正1 | 76. 対義語・類義語6 | |
| 37. 誤字訂正2 | 77. 対義語・類義語7 | |
| 38. 誤字訂正3 | 78. 対義語・類義語8 | |
| 39. 誤字訂正4 | 79. 対義語・類義語9 | |
| 40. 誤字訂正5 | 80. 対義語・類義語10 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	論作文研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 社会人像に関する基本的課題 1 | 21. 社会人像に関する基本的課題 1 1 |
| 2. 社会人像に関する基本的課題 2 | 22. 社会人像に関する基本的課題 1 2 |
| 3. 社会人像に関する基本的課題 3 | 23. 学校生活に関する基本的課題 6 |
| 4. 社会人像に関する基本的課題 4 | 24. 学校生活に関する基本的課題 7 |
| 5. 社会人像に関する基本的課題 5 | 25. 学校生活に関する基本的課題 8 |
| 6. 学校生活に関する基本的課題 1 | 26. 学校生活に関する基本的課題 9 |
| 7. 学校生活に関する基本的課題 2 | 27. 学校生活に関する基本的課題 1 0 |
| 8. 学校生活に関する基本的課題 3 | 28. 学校生活に関する基本的課題 1 1 |
| 9. 学校生活に関する基本的課題 4 | 29. 学校生活に関する基本的課題 1 2 |
| 10. 学校生活に関する基本的課題 5 | 30. 人生観・生き方に関する基本的課題 6 |
| 11. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 | 31. 人生観・生き方に関する基本的課題 7 |
| 12. 人生観・生き方に関する基本的課題 2 | 32. 人生観・生き方に関する基本的課題 8 |
| 13. 人生観・生き方に関する基本的課題 3 | 33. 人生観・生き方に関する基本的課題 9 |
| 14. 人生観・生き方に関する基本的課題 4 | 34. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 0 |
| 15. 人生観・生き方に関する基本的課題 5 | 35. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 1 |
| 16. 社会人像に関する基本的課題 6 | 36. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 2 |
| 17. 社会人像に関する基本的課題 7 | 37. 総合的課題 1 |
| 18. 社会人像に関する基本的課題 8 | 38. 総合的課題 2 |
| 19. 社会人像に関する基本的課題 9 | 39. 総合的課題 3 |
| 20. 社会人像に関する基本的課題 1 0 | 40. 総合的課題 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に課する種々のレポート、学期末試験、出席等を総合して判断する。論作文の成果物、レポート等の内容を中心に評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	論作文研究 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 社会人像に関する基本的課題 1 | 21. 社会人像に関する基本的課題 1 1 |
| 2. 社会人像に関する基本的課題 2 | 22. 社会人像に関する基本的課題 1 2 |
| 3. 社会人像に関する基本的課題 3 | 23. 学校生活に関する基本的課題 6 |
| 4. 社会人像に関する基本的課題 4 | 24. 学校生活に関する基本的課題 7 |
| 5. 社会人像に関する基本的課題 5 | 25. 学校生活に関する基本的課題 8 |
| 6. 学校生活に関する基本的課題 1 | 26. 学校生活に関する基本的課題 9 |
| 7. 学校生活に関する基本的課題 2 | 27. 学校生活に関する基本的課題 1 0 |
| 8. 学校生活に関する基本的課題 3 | 28. 学校生活に関する基本的課題 1 1 |
| 9. 学校生活に関する基本的課題 4 | 29. 学校生活に関する基本的課題 1 2 |
| 10. 学校生活に関する基本的課題 5 | 30. 人生観・生き方に関する基本的課題 6 |
| 11. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 | 31. 人生観・生き方に関する基本的課題 7 |
| 12. 人生観・生き方に関する基本的課題 2 | 32. 人生観・生き方に関する基本的課題 8 |
| 13. 人生観・生き方に関する基本的課題 3 | 33. 人生観・生き方に関する基本的課題 9 |
| 14. 人生観・生き方に関する基本的課題 4 | 34. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 0 |
| 15. 人生観・生き方に関する基本的課題 5 | 35. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 1 |
| 16. 社会人像に関する基本的課題 6 | 36. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 2 |
| 17. 社会人像に関する基本的課題 7 | 37. 総合的課題 1 |
| 18. 社会人像に関する基本的課題 8 | 38. 総合的課題 2 |
| 19. 社会人像に関する基本的課題 9 | 39. 総合的課題 3 |
| 20. 社会人像に関する基本的課題 1 0 | 40. 総合的課題 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に課する種々のレポート、学期末試験、出席等を総合して判断する。論作文の成果物、レポート等の内容を中心に評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	時事問題研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

最新の国内・外の主要な時事問題について、時事用語の理解に重点をおきながら分析し、理解を深めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 政治・経済分野 1 | 21. 科学・技術分野 1 |
| 2. 政治・経済分野 2 | 22. 科学・技術分野 2 |
| 3. 政治・経済分野 3 | 23. 科学・技術分野 3 |
| 4. 政治・経済分野 4 | 24. 科学・技術分野 4 |
| 5. 政治・経済分野 5 | 25. 科学・技術分野 5 |
| 6. 国際関係分野 1 | 26. 自然・環境分野 1 |
| 7. 国際関係分野 2 | 27. 自然・環境分野 2 |
| 8. 国際関係分野 3 | 28. 自然・環境分野 3 |
| 9. 国際関係分野 4 | 29. 自然・環境分野 4 |
| 10. 国際関係分野 5 | 30. 自然・環境分野 5 |
| 11. 社会・生活分野 1 | 31. 文化・スポーツ分野 1 |
| 12. 社会・生活分野 2 | 32. 文化・スポーツ分野 2 |
| 13. 社会・生活分野 3 | 33. 文化・スポーツ分野 3 |
| 14. 社会・生活分野 4 | 34. 文化・スポーツ分野 4 |
| 15. 社会・生活分野 5 | 35. 文化・スポーツ分野 5 |
| 16. 産業・労働分野 1 | 36. 総合 1 |
| 17. 産業・労働分野 2 | 37. 総合 2 |
| 18. 産業・労働分野 3 | 38. 総合 3 |
| 19. 産業・労働分野 4 | 39. 総合 4 |
| 20. 産業・労働分野 5 | 40. 総合 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

時事用語集、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	キャリアデザイン研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会でどのように働き、どのように社会で自立して生きていくのかを考え、キャリアデザインの重要性を理解したうえで、社会で求められる人材であることをきちんと表現することのできる力を養成することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自己分析 1 | 21. エントリーシート・履歴書作成 3 |
| 2. 自己分析 2 | 22. エントリーシート・履歴書作成 4 |
| 3. 自己分析 3 | 23. エントリーシート・履歴書作成 5 |
| 4. 自己分析 4 | 24. エントリーシート・履歴書作成 6 |
| 5. 自己分析 5 | 25. 模擬面接 1 |
| 6. 自己分析 6 | 26. 模擬面接 2 |
| 7. 志望動機作成 1 | 27. 模擬面接 3 |
| 8. 志望動機作成 2 | 28. 模擬面接 4 |
| 9. 志望動機作成 3 | 29. 模擬面接 5 |
| 10. 志望動機作成 4 | 30. 模擬面接 6 |
| 11. 志望動機作成 5 | 31. 模擬面接 7 |
| 12. 志望動機作成 6 | 32. 模擬面接 8 |
| 13. 自己PR作成 1 | 33. 模擬面接 9 |
| 14. 自己PR作成 2 | 34. 模擬面接 10 |
| 15. 自己PR作成 3 | 35. 模擬面接 11 |
| 16. 自己PR作成 4 | 36. 模擬面接 12 |
| 17. 自己PR作成 5 | 37. 模擬面接 13 |
| 18. 自己PR作成 6 | 38. 模擬面接 14 |
| 19. エントリーシート・履歴書作成 1 | 39. 模擬面接 15 |
| 20. エントリーシート・履歴書作成 2 | 40. 模擬面接 16 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

履歴書の作成や面接対策に関する資料及び官公庁・企業のホームページ並びに資料

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、出席状況、作成したエントリーシートや履歴書の内容等並びに模擬面接での受け答えを総合評価する。

科目名	職業実務研究Ⅱ A	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、実務経験に基づいて部隊での研修や実績を有した方々でありそれぞれの専門知識を生かした実践的な授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 就職を目前に控え公務員として有事の際の活動の一環として、災害時の活動を学び実際に演習を通じて必要性和重要性を理解しスキルの習得を行う。																											
[講義・演習項目] <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 災害時における活動内容 1</td> <td style="width: 50%;">11. 救護方法演習 (骨折) 3</td> </tr> <tr> <td>2. 災害時における活動内容 2</td> <td>12. 救護方法演習 (骨折) 4</td> </tr> <tr> <td>3. 災害時における活動内容 3</td> <td>13. 救護方法演習 (搬送方法) 1</td> </tr> <tr> <td>4. 災害時における活動内容 4</td> <td>14. 救護方法演習 (搬送方法) 2</td> </tr> <tr> <td>5. 救護方法演習 (止血) 1</td> <td>15. 救護方法演習 (搬送方法) 3</td> </tr> <tr> <td>6. 救護方法演習 (止血) 2</td> <td>16. 救護方法演習 (搬送方法) 4</td> </tr> <tr> <td>7. 救護方法演習 (止血) 3</td> <td>17. レポート作成 1</td> </tr> <tr> <td>8. 救護方法演習 (止血) 4</td> <td>18. レポート作成 2</td> </tr> <tr> <td>9. 救護方法演習 (骨折) 1</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. 救護方法演習 (骨折) 2</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 災害時における活動内容 1	11. 救護方法演習 (骨折) 3	2. 災害時における活動内容 2	12. 救護方法演習 (骨折) 4	3. 災害時における活動内容 3	13. 救護方法演習 (搬送方法) 1	4. 災害時における活動内容 4	14. 救護方法演習 (搬送方法) 2	5. 救護方法演習 (止血) 1	15. 救護方法演習 (搬送方法) 3	6. 救護方法演習 (止血) 2	16. 救護方法演習 (搬送方法) 4	7. 救護方法演習 (止血) 3	17. レポート作成 1	8. 救護方法演習 (止血) 4	18. レポート作成 2	9. 救護方法演習 (骨折) 1	19. グループワーク 1	10. 救護方法演習 (骨折) 2	20. グループワーク 2
1. 災害時における活動内容 1	11. 救護方法演習 (骨折) 3																										
2. 災害時における活動内容 2	12. 救護方法演習 (骨折) 4																										
3. 災害時における活動内容 3	13. 救護方法演習 (搬送方法) 1																										
4. 災害時における活動内容 4	14. 救護方法演習 (搬送方法) 2																										
5. 救護方法演習 (止血) 1	15. 救護方法演習 (搬送方法) 3																										
6. 救護方法演習 (止血) 2	16. 救護方法演習 (搬送方法) 4																										
7. 救護方法演習 (止血) 3	17. レポート作成 1																										
8. 救護方法演習 (止血) 4	18. レポート作成 2																										
9. 救護方法演習 (骨折) 1	19. グループワーク 1																										
10. 救護方法演習 (骨折) 2	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務研究ⅡB	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役司法書士) [担当教員紹介] 担当教員の一人は司法書士であり、法律に基づいてコンプライアンスに関する不祥事や問題点を自身の身を守る形で授業を展開する。また民間企業や個人の不祥事を身近に捉えることで生活に関するコンプライアンスを習得する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 法令遵守のみならず、社会的ニーズへの対応の仕方を、実例を踏まえて修得する。近い将来、学生たちが社会で活躍する上で、基本的なコンプライアンス意識が醸成されたレベルを兼ね備えて送り出せるようにしたい。																											
[講義・演習項目] <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. コンプライアンスの必要性</td> <td style="width:50%;">11. 事例研究 (不適切動画) 2</td> </tr> <tr> <td>2. 悪質商法 1</td> <td>12. 事例研究 (不適切動画) 3</td> </tr> <tr> <td>3. 悪質商法 2</td> <td>13. 事例研究 (公文書廃棄) 1</td> </tr> <tr> <td>4. 悪質商法 3</td> <td>14. 事例研究 (公文書廃棄) 2</td> </tr> <tr> <td>5. 公務員の不祥事 1</td> <td>15. 事例研究 (公文書廃棄) 3</td> </tr> <tr> <td>6. 公務員の不祥事 2</td> <td>16. 気をつけたいコンプライアンス違反 1</td> </tr> <tr> <td>7. 公務員の不祥事 3</td> <td>17. 気をつけたいコンプライアンス違反 2</td> </tr> <tr> <td>8. 公務員の不祥事 4</td> <td>18. 気をつけたいコンプライアンス違反 3</td> </tr> <tr> <td>9. コンプライアンスが求められる理由</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. 事例研究 (不適切動画) 1</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align:right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. コンプライアンスの必要性	11. 事例研究 (不適切動画) 2	2. 悪質商法 1	12. 事例研究 (不適切動画) 3	3. 悪質商法 2	13. 事例研究 (公文書廃棄) 1	4. 悪質商法 3	14. 事例研究 (公文書廃棄) 2	5. 公務員の不祥事 1	15. 事例研究 (公文書廃棄) 3	6. 公務員の不祥事 2	16. 気をつけたいコンプライアンス違反 1	7. 公務員の不祥事 3	17. 気をつけたいコンプライアンス違反 2	8. 公務員の不祥事 4	18. 気をつけたいコンプライアンス違反 3	9. コンプライアンスが求められる理由	19. グループワーク 1	10. 事例研究 (不適切動画) 1	20. グループワーク 2
1. コンプライアンスの必要性	11. 事例研究 (不適切動画) 2																										
2. 悪質商法 1	12. 事例研究 (不適切動画) 3																										
3. 悪質商法 2	13. 事例研究 (公文書廃棄) 1																										
4. 悪質商法 3	14. 事例研究 (公文書廃棄) 2																										
5. 公務員の不祥事 1	15. 事例研究 (公文書廃棄) 3																										
6. 公務員の不祥事 2	16. 気をつけたいコンプライアンス違反 1																										
7. 公務員の不祥事 3	17. 気をつけたいコンプライアンス違反 2																										
8. 公務員の不祥事 4	18. 気をつけたいコンプライアンス違反 3																										
9. コンプライアンスが求められる理由	19. グループワーク 1																										
10. 事例研究 (不適切動画) 1	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務研究ⅡC	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役日本年金機構職員)、(現役京都銀行協会職員) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役日本年金機構職員であり公的年金の仕組みや20歳になってからの手続きを復習しながら老齢年金と障害年金を中心に授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役京都銀行協会職員であり実際に多重債務者にならないようにメカニズムを修得する。また、グループワークを通じて啓発ポスターの作成やプレゼンテーションで多角的な考察を深める授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 卒業後の人生においてお金にまつわる諸問題と、それに関わる犯罪についても学ぶ。また、将来に渡ってどのように自身とお金に関わっていくかを修得する。																											
[講義・演習項目] <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. 公的年金制度の復習 1</td> <td style="width:50%;">11. 多重債務とは 1</td> </tr> <tr> <td>2. 公的年金制度の復習 2</td> <td>12. 多重債務とは 2</td> </tr> <tr> <td>3. 老齢年金の仕組み 1</td> <td>13. 多重債務のメカニズム 1</td> </tr> <tr> <td>4. 老齢年金の仕組み 2</td> <td>14. 多重債務のメカニズム 2</td> </tr> <tr> <td>5. 老齢年金の計算</td> <td>15. 多重債務の実例</td> </tr> <tr> <td>6. 障害年金の仕組み 1</td> <td>16. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>7. 障害年金の仕組み 2</td> <td>17. グループワーク 2</td> </tr> <tr> <td>8. 障害年金の計算</td> <td>18. プレゼンテーション 1</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. プレゼンテーション 2</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align:right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 公的年金制度の復習 1	11. 多重債務とは 1	2. 公的年金制度の復習 2	12. 多重債務とは 2	3. 老齢年金の仕組み 1	13. 多重債務のメカニズム 1	4. 老齢年金の仕組み 2	14. 多重債務のメカニズム 2	5. 老齢年金の計算	15. 多重債務の実例	6. 障害年金の仕組み 1	16. グループワーク 1	7. 障害年金の仕組み 2	17. グループワーク 2	8. 障害年金の計算	18. プレゼンテーション 1	9. グループワーク	19. プレゼンテーション 2	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 公的年金制度の復習 1	11. 多重債務とは 1																										
2. 公的年金制度の復習 2	12. 多重債務とは 2																										
3. 老齢年金の仕組み 1	13. 多重債務のメカニズム 1																										
4. 老齢年金の仕組み 2	14. 多重債務のメカニズム 2																										
5. 老齢年金の計算	15. 多重債務の実例																										
6. 障害年金の仕組み 1	16. グループワーク 1																										
7. 障害年金の仕組み 2	17. グループワーク 2																										
8. 障害年金の計算	18. プレゼンテーション 1																										
9. グループワーク	19. プレゼンテーション 2																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務研究ⅡD	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1		
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習		
		担当教員	実務経験のある教員 (現役京都市地域リハビリテーション推進センター職員) (企業や官公庁の職員研修を実施しているマナー研修会社の代表取締役) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役京都市地域リハビリテーション推進センター職員である。身体障がいの特性や配慮について実務経験を中心に授業を展開する。 担当教員のもう一人は、ビジネスマナー、特に接客等の技術を専門的にレクチャーする会社の社員であり、接客等の実務経験に基づいてビジネスマナーやクレーム対応の授業を展開する。						
[講義主要目標及び講義概要] 社会人になるにあたって、さまざまな特性を持った方々との接し方やビジネスマナー、クレーム対応をはじめとして、職員としての即戦力になるために必要なことについて実習を通して学ぶ。									
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 身体障がい 2. 肢体不自由の特性1 3. 肢体不自由の特性2 4. 肢体不自由の配慮1 5. 肢体不自由の配慮2 6. その他の障がい1 7. その他の障がい2 8. 対応方法 9. グループワーク 10. レポート作成 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 11. オリエンテーション 12. ビジネスマナーの基礎 13. クレームとは 14. クレーム対応の基本1 15. クレーム対応の基本2 16. 事例研究1 17. 事例研究2 18. グループワーク1 19. グループワーク2 20. レポート作成 </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 身体障がい 2. 肢体不自由の特性1 3. 肢体不自由の特性2 4. 肢体不自由の配慮1 5. 肢体不自由の配慮2 6. その他の障がい1 7. その他の障がい2 8. 対応方法 9. グループワーク 10. レポート作成	11. オリエンテーション 12. ビジネスマナーの基礎 13. クレームとは 14. クレーム対応の基本1 15. クレーム対応の基本2 16. 事例研究1 17. 事例研究2 18. グループワーク1 19. グループワーク2 20. レポート作成
1. 身体障がい 2. 肢体不自由の特性1 3. 肢体不自由の特性2 4. 肢体不自由の配慮1 5. 肢体不自由の配慮2 6. その他の障がい1 7. その他の障がい2 8. 対応方法 9. グループワーク 10. レポート作成	11. オリエンテーション 12. ビジネスマナーの基礎 13. クレームとは 14. クレーム対応の基本1 15. クレーム対応の基本2 16. 事例研究1 17. 事例研究2 18. グループワーク1 19. グループワーク2 20. レポート作成								
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。									
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。									

科目名	官公庁研究Ⅲ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁の方々による4月に実施される業務説明会を通して、公務員の仕事概要等を深く理解することにより、今後希望する公務員試験に向けて考え行動する力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1. 官公庁研究の方法1
2. 官公庁研究の方法2
3. 官公庁研究の方法3
4. 参加する官公庁について事前研究1
5. 参加する官公庁について事前研究2
6. 参加する官公庁について事前研究3
7. 参加する官公庁について事前研究4
8. 参加する官公庁について事前研究5
9. 参加する官公庁について事前研究6
10. 参加する官公庁について事前研究7
11. 参加する官公庁について事前研究8
12. 各官公庁の人事担当者からのご講演1
13. 各官公庁の人事担当者からのご講演2
14. 各官公庁の人事担当者からのご講演3
15. 各官公庁の人事担当者からのご講演4
16. 参加した官公庁について事後研究1
17. 参加した官公庁について事後研究2
18. 参加した官公庁について事後研究3
19. 参加した官公庁について事後研究4
20. 参加した官公庁について事後研究5

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	数的推理研究	開講年次	1年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の応用力を身につけるけるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|------------------|------------------|
| 1. 方程式・不等式 1 | 41. 魔方陣 6 | 81. 時間・距離・速さ 1 4 |
| 2. 方程式・不等式 2 | 42. 比・割合 5 | 82. 時間・距離・速さ 1 5 |
| 3. 方程式・不等式 3 | 43. 比・割合 6 | 83. 仕事算 5 |
| 4. 方程式・不等式 4 | 44. 覆面算・虫喰算 5 | 84. 仕事算 6 |
| 5. 数 1 | 45. 覆面算・虫喰算 6 | 85. 仕事算 7 |
| 6. 数 2 | 46. 損益算 5 | 86. 数列 5 |
| 7. 数 3 | 47. 損益算 6 | 87. 数列 6 |
| 8. 数 4 | 48. 時間・距離・速さ 5 | 88. 暦 5 |
| 9. 測量 1 | 49. 時間・距離・速さ 6 | 89. 暦 6 |
| 10. 測量 2 | 50. 時間・距離・速さ 7 | 90. 方程式・不等式 1 1 |
| 11. 測量 3 | 51. 時間・距離・速さ 8 | 91. 方程式・不等式 1 2 |
| 12. 測量 4 | 52. 時間・距離・速さ 9 | 92. 覆面算・虫喰算 5 |
| 13. 魔方陣 1 | 53. 時間・距離・速さ 1 0 | 93. 覆面算・虫喰算 6 |
| 14. 魔方陣 2 | 54. 時間・距離・速さ 1 1 | 94. 場合の数 5 |
| 15. 魔方陣 3 | 55. 仕事算 1 | 95. 場合の数 6 |
| 16. 魔方陣 4 | 56. 仕事算 2 | 96. 総合演習 1 |
| 17. 比・割合 1 | 57. 仕事算 3 | 97. 総合演習 2 |
| 18. 比・割合 2 | 58. 仕事算 4 | 98. 総合演習 3 |
| 19. 比・割合 3 | 59. 数列 1 | 99. 総合演習 4 |
| 20. 比・割合 4 | 60. 数列 2 | 100. 総合演習 5 |
| 21. 覆面算・虫喰算 1 | 61. 数列 3 | |
| 22. 覆面算・虫喰算 2 | 62. 数列 4 | |
| 23. 覆面算・虫喰算 3 | 63. 暦 1 | |
| 24. 覆面算・虫喰算 4 | 64. 暦 2 | |
| 25. 損益算 1 | 65. 暦 3 | |
| 26. 損益算 2 | 66. 暦 4 | |
| 27. 損益算 3 | 67. 方程式・不等式 7 | |
| 28. 損益算 4 | 68. 方程式・不等式 8 | |
| 29. 時間・距離・速さ 1 | 69. 方程式・不等式 9 | |
| 30. 時間・距離・速さ 2 | 70. 方程式・不等式 1 0 | |
| 31. 時間・距離・速さ 3 | 71. 覆面算・虫喰算 1 | |
| 32. 時間・距離・速さ 4 | 72. 覆面算・虫喰算 2 | |
| 33. 方程式・不等式 5 | 73. 覆面算・虫喰算 3 | |
| 34. 方程式・不等式 6 | 74. 覆面算・虫喰算 4 | |
| 35. 数 5 | 75. 場合の数 1 | |
| 36. 数 6 | 76. 場合の数 2 | |
| 37. 数 7 | 77. 場合の数 3 | |
| 38. 測量 5 | 78. 場合の数 4 | |
| 39. 測量 6 | 79. 時間・距離・速さ 1 2 | |
| 40. 魔方陣 5 | 80. 時間・距離・速さ 1 3 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理研究	開講年次	1年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の応用力を身につけ、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 集合 1 | 41. 数量推理 1 | 81. 立体図形 1 |
| 2. 集合 2 | 42. 数量推理 2 | 82. 立体図形 2 |
| 3. 集合 3 | 43. 数量推理 3 | 83. 立体図形 3 |
| 4. 集合 4 | 44. 数量推理 4 | 84. 立体図形 4 |
| 5. 集合 5 | 45. 数量推理 5 | 85. 立体図形 5 |
| 6. 論理命題 1 | 46. 手順 1 | 86. 位相・道順 1 |
| 7. 論理命題 2 | 47. 手順 2 | 87. 位相・道順 2 |
| 8. 論理命題 3 | 48. 手順 3 | 88. 位相・道順 3 |
| 9. 論理命題 4 | 49. 手順 4 | 89. 位相・道順 4 |
| 10. 論理命題 5 | 50. 手順 5 | 90. 位相・道順 5 |
| 11. 暗号 1 | 51. 平面図形 1 | 91. 総合演習 1 |
| 12. 暗号 2 | 52. 平面図形 2 | 92. 総合演習 2 |
| 13. 暗号 3 | 53. 平面図形 3 | 93. 総合演習 3 |
| 14. 暗号 4 | 54. 平面図形 4 | 94. 総合演習 4 |
| 15. 暗号 5 | 55. 平面図形 5 | 95. 総合演習 5 |
| 16. 対応関係 1 | 56. 軌跡 1 | 96. 総合演習 6 |
| 17. 対応関係 2 | 57. 軌跡 2 | 97. 総合演習 7 |
| 18. 対応関係 3 | 58. 軌跡 3 | 98. 総合演習 8 |
| 19. 対応関係 4 | 59. 軌跡 4 | 99. 総合演習 9 |
| 20. 対応関係 5 | 60. 軌跡 5 | 100. 総合演習 10 |
| 21. 試合と勝敗 1 | 61. 投影図 1 | |
| 22. 試合と勝敗 2 | 62. 投影図 2 | |
| 23. 試合と勝敗 3 | 63. 投影図 3 | |
| 24. 試合と勝敗 4 | 64. 投影図 4 | |
| 25. 試合と勝敗 5 | 65. 投影図 5 | |
| 26. 証言推理 1 | 66. 展開図 1 | |
| 27. 証言推理 2 | 67. 展開図 2 | |
| 28. 証言推理 3 | 68. 展開図 3 | |
| 29. 証言推理 4 | 69. 展開図 4 | |
| 30. 証言推理 5 | 70. 展開図 5 | |
| 31. 順序関係 1 | 71. 折り紙 1 | |
| 32. 順序関係 2 | 72. 折り紙 2 | |
| 33. 順序関係 3 | 73. 折り紙 3 | |
| 34. 順序関係 4 | 74. 折り紙 4 | |
| 35. 順序関係 5 | 75. 折り紙 5 | |
| 36. 方位・位置 1 | 76. サイコロ 1 | |
| 37. 方位・位置 2 | 77. サイコロ 2 | |
| 38. 方位・位置 3 | 78. サイコロ 3 | |
| 39. 方位・位置 4 | 79. サイコロ 4 | |
| 40. 方位・位置 5 | 80. サイコロ 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 10 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 10 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 10 | 40. 総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究演習	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 要旨把握 1 | 21. 古文の内容把握 1 |
| 2. 要旨把握 2 | 22. 古文の内容把握 2 |
| 3. 要旨把握 3 | 23. 古文の内容把握 3 |
| 4. 要旨把握 4 | 24. 古文の内容把握 4 |
| 5. 内容把握 1 | 25. 漢文の内容把握 1 |
| 6. 内容把握 2 | 26. 漢文の内容把握 2 |
| 7. 内容把握 3 | 27. 漢文の内容把握 3 |
| 8. 内容把握 4 | 28. 漢文の内容把握 4 |
| 9. 下線部把握 1 | 29. 英文の内容把握 1 |
| 10. 下線部把握 2 | 30. 英文の内容把握 2 |
| 11. 下線部把握 3 | 31. 英文の内容把握 3 |
| 12. 下線部把握 4 | 32. 英文の内容把握 4 |
| 13. 空欄補充 1 | 33. 総合演習 1 |
| 14. 空欄補充 2 | 34. 総合演習 2 |
| 15. 空欄補充 3 | 35. 総合演習 3 |
| 16. 空欄補充 4 | 36. 総合演習 4 |
| 17. 文章整序 1 | 37. 総合演習 5 |
| 18. 文章整序 2 | 38. 総合演習 6 |
| 19. 文章整序 3 | 39. 総合演習 7 |
| 20. 文章整序 4 | 40. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	適性演習研究	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

事務処理能力の基本である文書作成・集計・照合・転記・分類・整理といった各作業を、速くかつ正確に行うことを目標とする。計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、複雑な問題についてスパイラル方式による演習を行う。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 計算・分類・図形把握の形式1 | 21. 分類・置き換え・図形把握の形式1 |
| 2. 計算・分類・図形把握の形式2 | 22. 分類・置き換え・図形把握の形式2 |
| 3. 計算・分類・図形把握の形式3 | 23. 分類・置き換え・図形把握の形式3 |
| 4. 計算・分類・図形把握の形式4 | 24. 分類・置き換え・図形把握の形式4 |
| 5. 計算・分類・図形把握の形式5 | 25. 分類・置き換え・図形把握の形式5 |
| 6. 計算・照合・図形把握の形式1 | 26. 照合・置き換え・図形把握の形式等1 |
| 7. 計算・照合・図形把握の形式2 | 27. 照合・置き換え・図形把握の形式等2 |
| 8. 計算・照合・図形把握の形式3 | 28. 照合・置き換え・図形把握の形式等3 |
| 9. 計算・照合・図形把握の形式4 | 29. 照合・置き換え・図形把握の形式等4 |
| 10. 計算・照合・図形把握の形式5 | 30. 照合・置き換え・図形把握の形式等5 |
| 11. 計算・置き換え・図形把握の形式1 | 31. 総合演習1 |
| 12. 計算・置き換え・図形把握の形式2 | 32. 総合演習2 |
| 13. 計算・置き換え・図形把握の形式3 | 33. 総合演習3 |
| 14. 計算・置き換え・図形把握の形式4 | 34. 総合演習4 |
| 15. 計算・置き換え・図形把握の形式5 | 35. 総合演習5 |
| 16. 分類・照合・図形把握の形式1 | 36. 総合演習6 |
| 17. 分類・照合・図形把握の形式2 | 37. 総合演習7 |
| 18. 分類・照合・図形把握の形式3 | 38. 総合演習8 |
| 19. 分類・照合・図形把握の形式4 | 39. 総合演習9 |
| 20. 分類・照合・図形把握の形式5 | 40. 総合演習10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

適性に関するプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会学研究	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会学の基礎概念、社会構造と社会変動、社会生活の諸領域、大衆社会論、社会学の歴史と理論、社会学の歴史、社会学の展開、家族論、大衆社会論、等の理解を一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

1. 社会関係における地位と役割 1
2. 社会関係における地位と役割 2
3. 社会関係における地位と役割 3
4. 階級と階層 1
5. 階級と階層 2
6. 階級と階層 3
7. 社会変動論 1
8. 社会変動論 2
9. 社会変動論 3
10. 家族 1
11. 家族 2
12. 家族 3
13. 都市と農村 1
14. 都市と農村 2
15. 都市と農村 3
16. 都市と農村 4
17. 組織・管理論 等 1
18. 組織・管理論 等 2
19. 組織・管理論 等 3
20. 組織・管理論 等 4

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

セリエ社会学、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	教育・心理学研究	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指し種々の演習問題を多角的に検討し、公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1. 教育学：教育史 1
2. 教育学：教育史 2
3. 教育学：教育社会学 1
4. 教育学：教育社会学 2
5. 教育学：教育法規 1
6. 教育学：教育法規 2
7. 教育学：生涯学習 1
8. 教育学：生涯学習 2
9. 教育学：教育方法学 1
10. 教育学：教育方法学 2
11. 心理学：感覚・知覚 1
12. 心理学：感覚・知覚 2
13. 心理学：学習
14. 心理学：認知
15. 心理学：発達
16. 心理学：社会
17. 心理学：人格・臨床
18. 心理学：教育
19. 心理学：感情
20. 心理学：心理測定法

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

教育学・心理学に関する標準テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経済学研究	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

国民経済計算、消費の理論、IS-LM分析、市場の失敗、部分均衡分析と一般均衡分析、国際貿易、パレート最適等について、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 国民経済計算に関する問題 1 | 31. 効用関数・無差別曲線に関する問題 3 |
| 2. 国民経済計算に関する問題 2 | 32. 効用関数・無差別曲線に関する問題 4 |
| 3. 国民経済計算に関する問題 3 | 33. 最適消費量の決定に関する問題 1 |
| 4. 国民経済計算に関する問題 4 | 34. 最適消費量の決定に関する問題 2 |
| 5. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 1 | 35. 最適消費量の決定に関する問題 3 |
| 6. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 2 | 36. 最適消費量の決定に関する問題 4 |
| 7. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 3 | 37. 所得効果・代替効果に関する問題 1 |
| 8. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 4 | 38. 所得効果・代替効果に関する問題 2 |
| 9. 国民所得決定に関する問題 1 | 39. 所得効果・代替効果に関する問題 3 |
| 10. 国民所得決定に関する問題 2 | 40. 所得効果・代替効果に関する問題 4 |
| 11. 国民所得決定に関する問題 3 | 41. 需要曲線の導出に関する問題 1 |
| 12. 国民所得決定に関する問題 4 | 42. 需要曲線の導出に関する問題 2 |
| 13. 消費の理論に関する問題 1 | 43. 需要曲線の導出に関する問題 3 |
| 14. 消費の理論に関する問題 2 | 44. 需要曲線の導出に関する問題 4 |
| 15. 消費の理論に関する問題 3 | 45. 生産関数・等量曲線に関する問題 1 |
| 16. 消費の理論に関する問題 4 | 46. 生産関数・等量曲線に関する問題 2 |
| 17. IS-LM分析に関する問題 1 | 47. 生産関数・等量曲線に関する問題 3 |
| 18. IS-LM分析に関する問題 2 | 48. 生産関数・等量曲線に関する問題 4 |
| 19. IS-LM分析に関する問題 3 | 49. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 1 |
| 20. IS-LM分析に関する問題 4 | 50. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 2 |
| 21. 財政政策と金融政策に関する問題 1 | 51. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 3 |
| 22. 財政政策と金融政策に関する問題 2 | 52. 供給曲線の導出に関する問題 1 |
| 23. 財政政策と金融政策に関する問題 3 | 53. 供給曲線の導出に関する問題 2 |
| 24. 財政政策と金融政策に関する問題 4 | 54. 供給曲線の導出に関する問題 3 |
| 25. インフレーションと失業に関する問題 1 | 55. 独占・寡占に関する問題 1 |
| 26. インフレーションと失業に関する問題 2 | 56. 独占・寡占に関する問題 2 |
| 27. インフレーションと失業に関する問題 3 | 57. 独占・寡占に関する問題 3 |
| 28. インフレーションと失業に関する問題 4 | 58. 市場の失敗に関する問題 等 1 |
| 29. 効用関数・無差別曲線に関する問題 1 | 59. 市場の失敗に関する問題 等 2 |
| 30. 効用関数・無差別曲線に関する問題 2 | 60. 市場の失敗に関する問題 等 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

ミクロ経済学の標準的なテキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	民法研究	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

民法の基本的な理解を前提に、民法全体の各条文の意義・要件・効果を整理するとともに、判例の考え方及び通説的な見解の考察をする。また、実務上の手続きなどを学習し、最新の事例を題材として研究し、修得を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 総則・物権に関する問題 1 | 31. 契約法に関する問題 4 |
| 2. 総則・物権に関する問題 2 | 32. 契約法に関する問題 5 |
| 3. 総則・物権に関する問題 3 | 33. 契約法に関する問題 6 |
| 4. 総則・物権に関する問題 4 | 34. 契約法に関する問題 7 |
| 5. 総則・物権に関する問題 5 | 35. 契約法に関する問題 8 |
| 6. 総則・物権に関する問題 6 | 36. 契約法に関する問題 9 |
| 7. 総則・物権に関する問題 7 | 37. 不法行為に関する問題 1 |
| 8. 総則・物権に関する問題 8 | 38. 不法行為に関する問題 2 |
| 9. 総則・物権に関する問題 9 | 39. 不法行為に関する問題 3 |
| 10. 抵当権・譲渡担保に関する問題 1 | 40. 不法行為に関する問題 4 |
| 11. 抵当権・譲渡担保に関する問題 2 | 41. 不法行為に関する問題 5 |
| 12. 抵当権・譲渡担保に関する問題 3 | 42. 不法行為に関する問題 6 |
| 13. 抵当権・譲渡担保に関する問題 4 | 43. 不法行為に関する問題 7 |
| 14. 抵当権・譲渡担保に関する問題 5 | 44. 不法行為に関する問題 8 |
| 15. 抵当権・譲渡担保に関する問題 6 | 45. 不法行為に関する問題 9 |
| 16. 抵当権・譲渡担保に関する問題 7 | 46. 親族相続に関する問題 等 1 |
| 17. 抵当権・譲渡担保に関する問題 8 | 47. 親族相続に関する問題 等 2 |
| 18. 抵当権・譲渡担保に関する問題 9 | 48. 親族相続に関する問題 等 3 |
| 19. 債権総論に関する問題 1 | 49. 親族相続に関する問題 等 4 |
| 20. 債権総論に関する問題 2 | 50. 親族相続に関する問題 等 5 |
| 21. 債権総論に関する問題 3 | 51. 親族相続に関する問題 等 6 |
| 22. 債権総論に関する問題 4 | 52. 親族相続に関する問題 等 7 |
| 23. 債権総論に関する問題 5 | 53. 親族相続に関する問題 等 8 |
| 24. 債権総論に関する問題 6 | 54. 親族相続に関する問題 等 9 |
| 25. 債権総論に関する問題 7 | 55. 総合演習 1 |
| 26. 債権総論に関する問題 8 | 56. 総合演習 2 |
| 27. 債権総論に関する問題 9 | 57. 総合演習 3 |
| 28. 契約法に関する問題 1 | 58. 総合演習 4 |
| 29. 契約法に関する問題 2 | 59. 総合演習 5 |
| 30. 契約法に関する問題 3 | 60. 総合演習 6 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

民法の標準的なテキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	公法研究	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

基本的人権および統治機構についての理解をより一層深めるために、種々の実践問題を通して多角的に検討していく。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1. 人権の観念に関する実践問題 1	41. 違憲審査制に関する実践問題 1
2. 人権の観念に関する実践問題 2	42. 違憲審査制に関する実践問題 2
3. 人権と主体に関する実践問題 1	43. 憲法改正等に関する実践問題 1
4. 人権と主体に関する実践問題 2	44. 憲法改正等に関する実践問題 2
5. 人権と公共の福祉に関する実践問題 1	45. 総合演習 1
6. 人権と公共の福祉に関する実践問題 2	46. 総合演習 2
7. 私人間における人権に関する実践問題 1	47. 総合演習 3
8. 私人間における人権に関する実践問題 2	48. 総合演習 4
9. 新しい人権に関する実践問題 1	49. 行政法の意義、法源に関する実践問題 1
10. 新しい人権に関する実践問題 2	50. 行政法の意義、法源に関する実践問題 2
11. 法の下での平等に関する実践問題 1	51. 行政法の意義、法源に関する実践問題 3
12. 法の下での平等に関する実践問題 2	52. 公法と私法、法律による行政の原理による実践問題 1
13. 精神的自由権に関する実践問題 1	53. 公法と私法、法律による行政の原理による実践問題 2
14. 精神的自由権に関する実践問題 2	54. 公法と私法、法律による行政の原理による実践問題 3
15. 職業選択・居住移転の自由に関する実践問題 1	55. 行政の組織に関する実践問題 1
16. 職業選択・居住移転の自由に関する実践問題 2	56. 行政の組織に関する実践問題 2
17. 財産権の保障に関する実践問題 1	57. 行政の組織に関する実践問題 3
18. 財産権の保障に関する実践問題 2	58. 行政行為に関する実践問題 1
19. 人身の自由と適正手続に関する実践問題 1	59. 行政行為に関する実践問題 2
20. 人身の自由と適正手続に関する実践問題 2	60. 行政行為に関する実践問題 3
21. 国務請求権と参政権に関する実践問題 1	61. 行政上の義務履行確保の手段に関する実践問題 1
22. 国務請求権と参政権に関する実践問題 2	62. 行政上の義務履行確保の手段に関する実践問題 2
23. 生存権・労働基本権に関する実践問題 1	63. 行政上の義務履行確保の手段に関する実践問題 3
24. 生存権・労働基本権に関する実践問題 2	64. 国家賠償法1条・2条に関する実践問題 1
25. 教育を受ける権利に関する実践問題 1	65. 国家賠償法1条・2条に関する実践問題 2
26. 教育を受ける権利に関する実践問題 2	66. 国家賠償法1条・2条に関する実践問題 3
27. 二院制、国会・議院の権能に関する実践問題 1	67. 行政上の損失補償に関する実践問題 1
28. 二院制、国会・議院の権能に関する実践問題 2	68. 行政上の損失補償に関する実践問題 2
29. 衆議院の解散に関する実践問題 1	69. 行政上の損失補償に関する実践問題 3
30. 衆議院の解散に関する実践問題 2	70. 不服申し立て制度に関する実践問題 1
31. 内閣の組織と権能に関する実践問題 1	71. 不服申し立て制度に関する実践問題 2
32. 内閣の組織と権能に関する実践問題 2	72. 不服申し立て制度に関する実践問題 3
33. 議院内閣制に関する実践問題 1	73. 行政事件訴訟に関する実践問題 1
34. 議院内閣制に関する実践問題 2	74. 行政事件訴訟に関する実践問題 2
35. 財政に関する実践問題 1	75. 行政事件訴訟に関する実践問題 3
36. 財政に関する実践問題 2	76. 総合演習 1
37. 地方自治に関する実践問題 1	77. 総合演習 2
38. 地方自治に関する実践問題 2	78. 総合演習 3
39. 司法権に関する実践問題 1	79. 総合演習 4
40. 司法権に関する実践問題 2	80. 総合演習 5 ※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

憲法・行政法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	政治学・行政学研究	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治制度、選挙制度、政治権力、政党と圧力団体、国家概念、大衆社会の成立、世論、独裁等に関する理解をより一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

行政学の歴史・理論、行政権の役割と行政責任、行政改革と地方分権、予算、行政広報、情報公開、オンブズマン、地方自治制度と諸問題等に関する理解をより一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

1. 政治学：各国の政治制度に関する問題
2. 政治学：選挙制度に関する問題
3. 政治学：政治権力に関する問題
4. 政治学：イデオロギーと政治意識に関する問題
5. 政治学：政党と圧力団体に関する問題
6. 政治学：国家概念に関する問題
7. 政治学：現代政治の諸問題に関する問題
8. 政治学：政治思想と現代政治学に関する問題 等
9. 行政学：官房学に関する問題
10. 行政学：アメリカ行政学の展開に関する問題
11. 行政学：官僚制に関する問題
12. 行政学：行政国家に関する問題
13. 行政学：現代の行政に関する問題
14. 行政学：地方自治に関する問題
15. 行政学：予算に関する問題
16. 行政学：行政広報に関する問題
17. 行政学：情報公開に関する問題
18. 行政学：行政改革に関する問題 等
19. 総合演習 1
20. 総合演習 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治学・行政学の標準的なテキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経営学・財政学研究	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

経営の多角化、経営戦略、株式会社制度、人事・労務管理、生産と技術、財務管理等についての理解を目指す。種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

財政をめぐる歴史・理論および財政構造改革、予算制度、一般会計予算、財政投融资、地方財政、国庫金制度等に関する理解をより一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

1. 経営学：経営学説全般に関する問題 1
2. 経営学：経営学説全般に関する問題 2
3. 経営学：伝統的管理論・人間関係論に関する問題 1
4. 経営学：伝統的管理論・人間関係論に関する問題 2
5. 経営学：意思決定論に関する問題
6. 経営学：リーダーシップ論に関する問題
7. 経営学：経営組織全般に関する問題
8. 経営学：事業部制組織に関する問題
9. 経営学：経営戦略全般に関する問題 等
10. 財政学：予算制度に関する問題 1
11. 財政学：予算制度に関する問題 2
12. 財政学：一般会計予算に関する問題 1
13. 財政学：一般会計予算に関する問題 2
14. 財政学：財政投融资に関する問題
15. 財政学：地方財政に関する問題 1
16. 財政学：地方財政に関する問題 2
17. 財政学：国庫金制度に関する問題 等
18. 総合演習 1
19. 総合演習 2
20. 総合演習 3

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

経営学・財政学の要点整理を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会・教育・心理学研究	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会学の基礎概念、社会構造と社会変動、社会生活の諸領域、大衆社会論、社会学の歴史と理論、社会学の歴史、社会学の展開、家族論、大衆社会論、等の理解を一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法の理解を一層深めるために、公務員試験の出題傾向を考慮しながら、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を実践的・多角的に検討する。

心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指し種々の演習問題を多角的に検討し、公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1. 社会学：社会関係における地位と役割
2. 社会学：階級と階層
3. 社会学：社会変動論
4. 社会学：家族
5. 社会学：都市と農村
6. 社会学：組織・管理論 等
7. 教育学：教育史
8. 教育学：教育社会学
9. 教育学：教育法規
10. 教育学：生涯学習
11. 教育学：教育方法学
12. 心理学：感覚・知覚
13. 心理学：学習
14. 心理学：認知
15. 心理学：発達
16. 心理学：社会
17. 心理学：人格・臨床
18. 心理学：教育
19. 心理学：感情
20. 心理学：心理測定法

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

社会学・教育学・心理学の基本的なテキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	コンピュータ演習 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

コンピュータの起動、文字入力、表計算、ファイルの操作、印刷、データの保存等の基本操作の習得を目指す。また、コンピュータおよび関連知識についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. コンピュータの仕組みと操作 1
2. コンピュータの仕組みと操作 2
3. コンピュータの仕組みと操作 3
4. データの入力 1
5. データの入力 2
6. データの入力 3
7. 表計算等のデータの処理 1
8. 表計算等のデータの処理 2
9. 表計算等のデータの処理 3
10. ファイルの操作 1
11. ファイルの操作 2
12. ファイルの操作 3
13. データの印刷 1
14. データの印刷 2
15. データの印刷 3
16. データの保存 1
17. データの保存 2
18. データの保存 3
19. 総合 1
20. 総合 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

情報処理に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	卒業研究 I	開講年次	1 年	授業時数	160	単位数	8
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。

〔講義・演習項目〕

1. 卒業研究概要 1	41. 下書き作成 1 6	81. 下書き作成 5 6	121. 清書作成 2 1
2. 卒業研究概要 2	42. 下書き作成 1 7	82. 下書き作成 5 7	122. 清書作成 2 2
3. 卒業研究概要 3	43. 下書き作成 1 8	83. 下書き作成 5 8	123. 清書作成 2 3
4. 卒業研究概要 4	44. 下書き作成 1 9	84. 下書き作成 5 9	124. 清書作成 2 4
5. 卒業研究概要 5	45. 下書き作成 2 0	85. 下書き作成 6 0	125. 清書作成 2 5
6. テーマの研究 1	46. 下書き作成 2 1	86. 下書き作成 6 1	126. 清書作成 2 6
7. テーマの研究 2	47. 下書き作成 2 2	87. 下書き作成 6 2	127. 清書作成 2 7
8. テーマの研究 3	48. 下書き作成 2 3	88. 下書き作成 6 3	128. 清書作成 2 8
9. テーマの研究 4	49. 下書き作成 2 4	89. 下書き作成 6 4	129. 清書作成 2 9
10. テーマの研究 5	50. 下書き作成 2 5	90. 下書き作成 6 5	130. 清書作成 3 0
11. 情報収集 1	51. 下書き作成 2 6	91. 下書き作成 6 6	131. 清書作成 3 1
12. 情報収集 2	52. 下書き作成 2 7	92. 下書き作成 6 7	132. 清書作成 3 2
13. 情報収集 3	53. 下書き作成 2 8	93. 下書き作成 6 8	133. 清書作成 3 3
14. 情報収集 4	54. 下書き作成 2 9	94. 下書き作成 6 9	134. 清書作成 3 4
15. 情報収集 5	55. 下書き作成 3 0	95. 下書き作成 7 0	135. 清書作成 3 5
16. 情報収集 6	56. 下書き作成 3 1	96. 下書き作成 7 1	136. 清書作成 3 6
17. 情報収集 7	57. 下書き作成 3 2	97. 下書き作成 7 2	137. 清書作成 3 7
18. 情報収集 8	58. 下書き作成 3 3	98. 下書き作成 7 3	138. 清書作成 3 8
19. 情報収集 9	59. 下書き作成 3 4	99. 下書き作成 7 4	139. 清書作成 3 9
20. 情報収集 1 0	60. 下書き作成 3 5	100. 下書き作成 7 5	140. 清書作成 4 0
21. 情報収集 1 1	61. 下書き作成 3 6	101. 清書作成 1	141. 清書作成 4 1
22. 情報収集 1 2	62. 下書き作成 3 7	102. 清書作成 2	142. 清書作成 4 2
23. 情報収集 1 3	63. 下書き作成 3 8	103. 清書作成 3	143. 清書作成 4 3
24. 情報収集 1 4	64. 下書き作成 3 9	104. 清書作成 4	144. 清書作成 4 4
25. 情報収集 1 5	65. 下書き作成 4 0	105. 清書作成 5	145. 清書作成 4 5
26. 下書き作成 1	66. 下書き作成 4 1	106. 清書作成 6	146. 清書作成 4 6
27. 下書き作成 2	67. 下書き作成 4 2	107. 清書作成 7	147. 清書作成 4 7
28. 下書き作成 3	68. 下書き作成 4 3	108. 清書作成 8	148. 清書作成 4 8
29. 下書き作成 4	69. 下書き作成 4 4	109. 清書作成 9	149. 清書作成 4 9
30. 下書き作成 5	70. 下書き作成 4 5	110. 清書作成 1 0	150. 清書作成 5 0
31. 下書き作成 6	71. 下書き作成 4 6	111. 清書作成 1 1	151. 清書作成 5 1
32. 下書き作成 7	72. 下書き作成 4 7	112. 清書作成 1 2	152. 清書作成 5 2
33. 下書き作成 8	73. 下書き作成 4 8	113. 清書作成 1 3	153. 清書作成 5 3
34. 下書き作成 9	74. 下書き作成 4 9	114. 清書作成 1 4	154. 清書作成 5 4
35. 下書き作成 1 0	75. 下書き作成 5 0	115. 清書作成 1 5	155. 清書作成 5 5
36. 下書き作成 1 1	76. 下書き作成 5 1	116. 清書作成 1 6	156. 清書作成 5 6
37. 下書き作成 1 2	77. 下書き作成 5 2	117. 清書作成 1 7	157. 清書作成 5 7
38. 下書き作成 1 3	78. 下書き作成 5 3	118. 清書作成 1 8	158. 清書作成 5 8
39. 下書き作成 1 4	79. 下書き作成 5 4	119. 清書作成 1 9	159. 清書作成 5 9
40. 下書き作成 1 5	80. 下書き作成 5 5	120. 清書作成 2 0	160. 製本 等

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。

〔成績評価〕

あらかじめ定められている手順・スケジュールにのっとって作成されているか等を考慮しつつ、論文の内容を総合判断して評価する。